

ハラスメント 相談室だより

第39号
令和5年3月

ハラスメント相談室だより
第39号をお届けします。

コラム 相談員からちょっとひとこと

マイクロアグレッションについて考えてみましょう

最近、マイクロアグレッションという言葉聞くようになりました。聞きなれない方も多いかと思うので、これがどういう概念で、どのような影響を人々に与えるのかについて、少しご説明したいと思います。言動自体は大変身近で、日常的に起こることですので、ぜひ知っておいていただきたいと思います。

マイクロアグレッションは、差別にかかわる概念です。差別というと、攻撃的な団体からのヘイトスピーチやあからさまな侮蔑的落書き、露骨な差別的取り扱いなどを想像しがちです。一方、マイクロアグレッションは、職場や友人間という身近な関係の中で起こる、日常の何気ないやり取りに含まれる見下しや侮辱、相手の属性をないことにする言動などを言います。マイクロという言葉でつい小さなことと思ってしまいがちですが、言っている本人は悪気がないとされていて、時には誉め言葉のつもりだったりするので、少しやっかいな言動です。

例えば、女性に対して、「女性なのにリーダーシップがあるね」と言ったり、ヘイトスピーチを心配する在日コリアンに対して「日本人に見えるから大丈夫だよ」と言ったりすることがマイクロアグレッションです。ここには、女性にはリーダーシップがないという女性への見下しや、在日コリアンへの差別を矮小化する意識が見え隠れし、言われた人を深く傷つけることになります。また、男性に対して「彼女いるんでしょう？」と言ったり、車いす当事者に直接話しかけることなく、介助者にだけ話しかけたりすることも、異性愛以外の恋愛関係や車いす当事者をいないことにしているという意味で、マイクロアグレッションと言えます。こういった言動は、一見些細なことのように思われがちですが、身近な人から日常の様々な場面で、繰り返し無神経に発せられることから、言われた方のダメージは大きいものがあります。

マイクロアグレッションは、それ自体でも被害は大きいのですが、その言動を放置することで、より大きな差別を隠ぺいすることになったり、被差別の人々を排除しようとする社会のありようを作ってしまうことにつながる可能性があります。もし自分がそんな言動を受けたら、信頼できる人や当相談室など専門家に相談してください。こういった言動を些細なことと見逃すことなく、お互いの立場を理解しあえる関係づくりに努めることで、差別のない大学づくりを目指したいと思います。

続きは裏面

ハラスメント相談室 開室スケジュール

令和4年12月1日～

キャンパス	相談室	月	火	水	木	金
豊中	ハラスメント相談室1 ＜文理融合型研究棟7F 704号室＞ TEL 06-6850-5029		10:00-13:00	12:00-15:00	11:00-14:00	10:00-13:00
	ハラスメント相談室2 ＜サイバーメディアセンター データ・ステーション2階＞ TEL 06-6850-6006			12:30-18:30		
	ハラスメント相談室3 ＜キャンパスライフ健康支援・相談センター東階段2階＞ TEL 06-6850-6505	10:00-13:00				
吹田	ハラスメント相談室1 ＜看護師宿舎1号棟3F 1311号室＞ TEL 06-6879-6981			12:00-15:00		11:00-14:00
				15:30-18:30	15:30-18:30	15:00-18:00
	ハラスメント相談室2 ＜看護師宿舎1号棟3F 1312号室＞ TEL 06-6879-6982 ※男性相談員（パワハラ・アカハラ担当）	※13:30-16:30	※9:30-13:00 ※14:00-16:15		※9:30-12:30	
箕面	ハラスメント相談室 ＜外国学研究講義棟1F＞ TEL 072-730-5112		当分の間、閉室			

- 専門相談員が電話あるいは対面で相談をお受けします(事前予約要)
- 秘密は厳守します。匿名での電話相談にも対応します
- 豊中・箕面の全相談室、及び吹田の相談室1はハラスメント全般について対応可能です(女性相談員)
- 各相談室の所在地、英語で相談可能な相談室・開室時間帯等、詳細は大阪大学HPをご覧ください

＜大阪大学HP「ハラスメントの防止等」ページ＞

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/life/prevention_sh

